

まずい……
なんでこんな事だ……

顔を隠して会えるからと高い金払って
登録した裏サイトだったのに……!!
よりによつてなんで自分の娘を
当ててしまふんだ!!
そして何よりもこんなことをしていた
娘にもシヨックだ……

こういう事はするな!!
なんて俺がここにいる以上
説得力がなさすぎる……

はるい

『さ、先に、シャワー
浴びてくるよ(少し考えよう)』

ス……

『あいよー』

幸いまだこちらの事には
気づいていない

しゅる……

シャワー……



どこで間違った……



そんな娘と俺は……



俺が残業ばかりで
気遣ってやれなかったからか……

『あーあがった？』

むぎゅっ

ふん

したくないワケがない

『そいじゃーさっそく
おつかれちゃんほぬきぬき
すっかー♥』

『おじさんだし長く持たないっしょ♥
あたしフェラ自信あるから
氣い抜くとすぐに出るから氣をつけてー』

『んじゃ、ひはひまーふ♥』

はあ
はあ

ぬるぬる
ぬるぬる



『あついやちよつ
そのピストンいい
こっち見てッ
あつ……!!』



あつ……ああ……
ついこないだまでママのおっぱいを吸っていた
というのには今はパパのちんぽ吸うようになって……
すまない……こんなパパを許してくれ……
気持ちいい……くっ……

『ちよなに泣きそうに
なってるの、そんなに
JKにしゃぶられんの
夢だったわけ?』



『ちんぽ見えなくなっただね
腰もカクついてっぞ♥』



『めあ♡でちやう
でちやう!!』

『ちよていいよー♥』

『いやっその、まだ……
まだ楽しみたいというか……そのっ』

『シフフーほっかほっか♥
ほいじゃほいほいでしごいたげよか♥』

『あ、まって……
まだイきたくない』

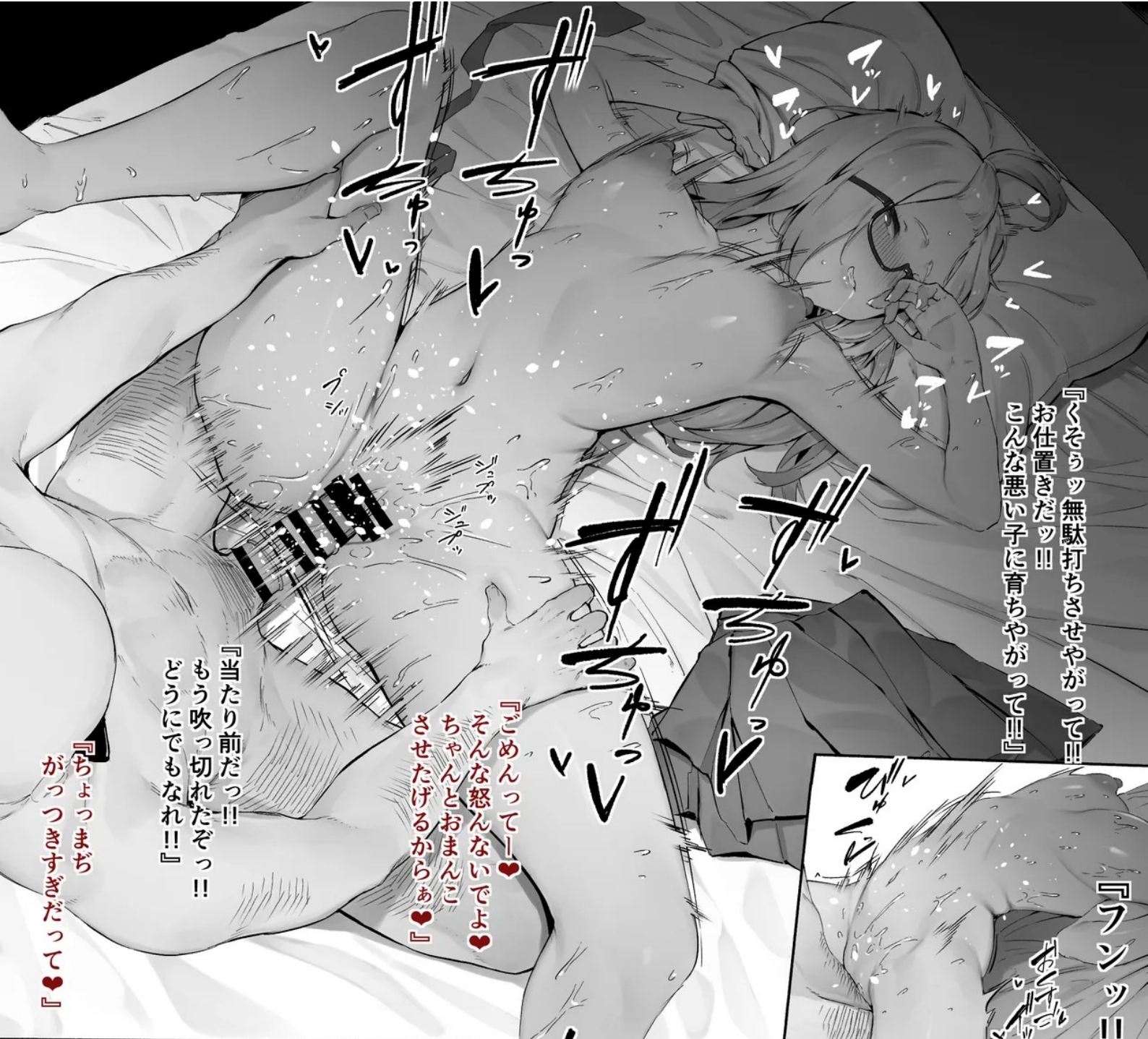
『めっちゃ濃いのでたよおじさあん♡
締めサービスでお掃除したげる♡』

『尻ノコからめり〜♡』

『おっし、キレイになったことだし
あたしはこれにてって……』

『たはー、やっぱ本番しないとだめかー♡』





『くそウツ無駄打ちさせやがって!!!
お仕置きだッ!!!
こんな悪い子に育ちやがって!!!』

『当たり前だっ!!!
もう吹っ切れたぞっ!!!
どうにでもなれ!!!』

『ごめんって!♥
そんな怒らないでよ♥
ちゃんとおまんこ
させたげるからあ♥』

『ちよつまぢ
がつつきすぎだっって♥』



『ランッ!!!』

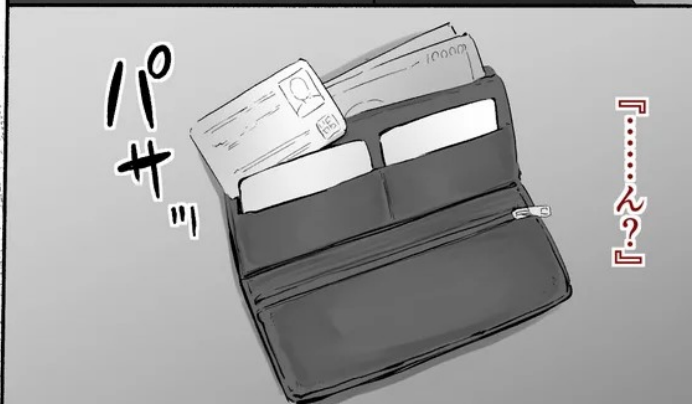


ゴム5つめ

3時間後——



『ぐええ……まだ
足がガクガクしてる……』



『……ん？』

うん



『な、なんだ、また、あれか……
こ、小遣いか』

『あーん
話が早いパパすぎ♥』



『そ、それで、いったい
いくらほしいんだ』



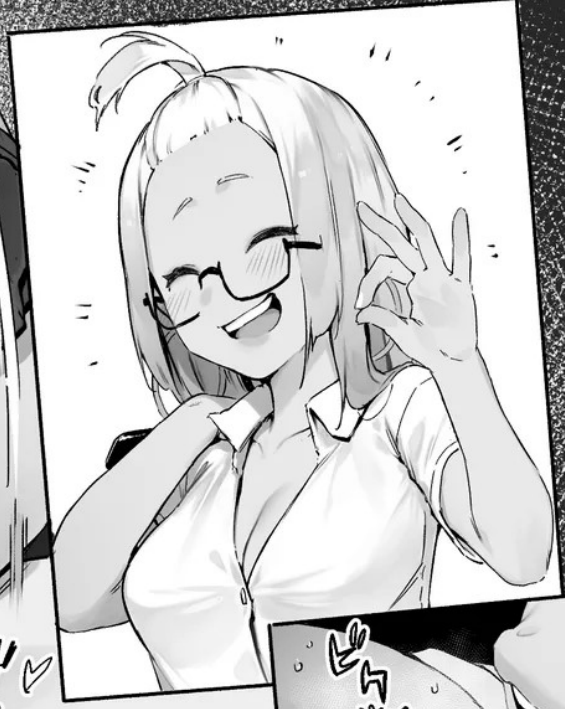
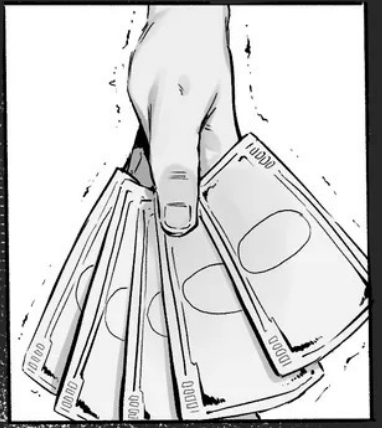
『こーんぐらい
なんだけどお?♥』



『ねーパパー?』

『ん、ん?—どうした』

『ちょおっちお願いがあんだけどー♥』



『けつ穴ほじられて、
何度も勃つうぐううううう……ッ!』

『なあ……』

『んー？』

『今度の土曜日、母さんが町内会の集まりとかで旅行で丸一日いないんだよ……』

はま…

はま…

『うんー』

『その日一日中セックスしたい……一日、その……30万で、ど、どうか……』

『30！ いいよいいよ♡
じゃあせっかくだしその日までオナニーもセックスも禁止ね♡』

『ええ……』

『だってそのほーがぜったい
気持ちいいし、たっくさん射精るよきつと♡』

ちが
ちが

く、く、く、





『お母さん出ていってすぐに生挿入なんて
 そんなに我慢できなかったのー？
 イク時はちゃんと外に射精しないと
 あたし知らないからねー！』





あれから数ヶ月
特にこれといって
変わったことはなく

『それじゃあ行ってくるね』

『はい、行ってらっしゃい』



しつこく言えば――



ペットが増えたことぐらいかな♡